令和6年度むかわ町鵠川厚生病院運営協議会（第2回）

1 日 時 令和7年3月7日（金） 14時00分～15時10分

2 場 所 むかわ町産業会館青年研修室

3 委員の出欠

毛利好隆	出席
野宮誠	出席
沼田智明	出席
前田幸男	欠席
古根川隆子	欠席
木澤省司	出席
宮崎晴美	出席
佐藤博征	出席
鍋城弥生	欠席

4 説明のため出席した事務局職員

むかわ町保健介護課	課長	酒巻宏臣
同 保健グループ	主幹	高橋佳香
(オブザーバー)		
町立国保穂別診療所	事務長	長谷山一樹

5 指定管理者

北海道厚生連事業推進部	係長	井上亘
むかわ町鵠川厚生病院	院長	越智勝治
	事務長	工藤和寛
	看護管理科長	内海郁江

6 報告

(1) 鵠川厚生病院の運営状況等について

7 協議

(1) むかわ町鵠川厚生病院の病床機能再編について

(2) むかわ町鵠川厚生病院経営強化プランの点検・評価について

8 議事の概要

発言者	発言内容
酒巻課長	開会
毛利会長	あいさつ（省略）
毛利会長	まず報告事項、むかわ町鶴川厚生病院の運状況等について、鶴川厚生病院より説明願います。
工藤事務長	<p>○ 報告（１）鶴川厚生病院の運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の１月末の運営状況の報告を申し上げるが、３月に入っているので、年度末の見通しを含めてご説明申し上げます。 ・ １月単月の収支状況について、入院患者数１日当たりの入院患者数を２１人で計画していたところ、年末年始が９連休ということで長い休みがありましたが、年明けから非常に多くの入院患者の実績となり平均で２８人、最大で４０床のうち３４人まで患者さんを受け入れしました。 ・ １月は今年度でも１番入院患者数が多かった月であったので、損益差額について、１月単月で約１,９００万円ほどのマイナスと計画していましたが、実績で約８００万円のマイナスとなり、良い結果となりました。 ・ １月末の年度累計の状況では、計画でマイナス約２億３００万円としていましたが、マイナス１億７,５００万円で計画対比で約２,８００万円良くなっています。 ・ 昨年度の１月末でのマイナス１億６,１００万円には及びませんでした。これにほぼ近づけることができました。 ・ ２月についても入院患者が多く平均２９人という稼働率なので、２月について１月同様、計画対比で良い数字となる見込みです。 ・ 昨年度１２月から３月までの４ヶ月間、入院患者を多く受け入れており、最終的に損益マイナス２,６００万円という良い結果で決算を迎えることができました。今年度は、前年度には及ばないものの、その結果に近づいた決算となる見込みですが、入院患者の確保に努力し、昨年並みの決算となるよう努めてまいります。 ・ 次に、来年度の体制について越智院長から報告させていただきます。
越智院長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成７年度の診療体制について、現時点での予定をご説明します。 ・ 昨年４月から常勤医師２名体制でやってきましたが、新たな医師の採用が決定し、令和７年１０月からは３名体制になる予定です。 ・ これまで皆さんに外来の待ち時間が長いなどのご不便をおかけしましたが、これが改善されるものと考えています。 ・ 採用される医師は内視鏡の専門医なので、院内で内視鏡検査に柔軟に対応できると考えています。 ・ 現在は、札幌厚生病院から応援に来てもらっており９月まではその体制を維持し、１０月からは新任ドクターとの相談にはなりますが、上部内視鏡については、日数が増えると思われ、下部検査についても今後、検討していきたいと考えています。 ・ もう一点の報告として、札幌厚生病院と協議により、４月から月に１回、循環器の専門外来を開設することになりました。 ・ 循環器の分野の中で不整脈のカテーテル治療が非常に進歩しており、そういった対象の患者さんがいれば、まず、こちらで専門のドクターに相談していただき、その後、札幌厚生病院や苫小牧の専門病院で対応してもらおうと考えて

	おります。
毛利会長	ただいまの報告について、皆さんから質問をお受けします。
佐藤委員	医師の3名体制について、内視鏡検査はいつからの対応になりますか。
越智院長	令和7年10月からの予定です。
佐藤委員	循環器内科の開設については、広報等でお知らせされるのですか。
工藤事務長	広報する予定です。準備が整いしだい、病院のホームページや町の広報に掲載し、住民周知を考えています。
木澤委員	入院患者について、病床変更の影響はあったのですか。
工藤事務長	病床再編はこれからになります。年明けから体調を崩す方が多く、入院につながる方が多かったことが影響しているものと思われます。
毛利会長	次の協議事項の病床機能の再編について、町から説明をお願いします。
酒巻課長	<p>○ 協議（1）むかわ町鶴川厚生病院の病床機能再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床機能の再編、病院経営強化プランの内容についてご審議いただいた際と、昨年9月の第1回運営協議会の中で、その方向性についてご説明させていただき、ご理解をいただいていたところですが、今協議会では、具体的に転換するベッド数とその時期についてお示しします。 ・ 厚生病院の現状として、病床40床（一般22床、地ケア18床）となっており、令和7年1月末の集計で、1日当たり入院患者数は、一般6.2名、地ケア15.1名の合計22.6名で、約69%が地ケア利用なので、回復期医療を必要とする患者が多く、地ケア病床のニーズが高いことがうかがえます。 ・ 次に、地域において厚生病院が担うべき役割は、病院経営強化プランでは、今後も地域住民ニーズにあわせて地ケア病床を増床し、さらに苫小牧市内の急性期病院からの在宅移行を目指す患者の受入について連携を強化することとしています。また、急性期の診療が終了した後も地元での入院療養を継続し、鶴川厚生病院で在宅療養・在宅生活に向けての準備期間の確保と在宅療養支援機能の充実を図ることとしています。 ・ 次に、地域医療構想に基づく東胆振圏域における医療機能の確保状況について、令和5年7月時点で、急性期が526床過剰である一方で、回復期が499床不足している状況にあり、回復期を担う地ケア病床への転換は地域医療需要に即した対応であるといえます。 ・ 「急性期病床と回復期病床の違い」は、急性期病床は、重症度や緊急度が高い患者を受入て治療を行う病床で、回復期病床は、急性期治療を終えた患者や在宅療養中の患者を受け入れて、在宅復帰を支援する病床となっています。 ・ 病床の入院料の違いについては、急性期は、実際に行った診療行為を積み上げた出来高で医療費を算出するのに対し、地ケア入院料は、基本点数は在院日数に応じ分布されており、40日と60日を境に金額が変更になります。また、急性期病床と違い、診療行為については、一部の診療行為を除き全て基本点数に包括されます。ただし、地ケアの入院料は60日を超えると非常に低い基本料金になります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護単位についても、急性期は、患者さん10名に対して看護師1名の配置であるのに対し、地ケア入院料は患者さん13名に対し看護師1名の配置となり、地ケア病床のほうが配置が緩やかであります。急性期を一部でも残す場合は、急性期での配置基準を維持する必要があります。 ・ 「病床再編による効果」ですが、収支に係る試算については、例えば急性期入院7名のうち、5名を地ケアに転床、2名は在院60日超えと条件設定すると、急性期と回復期混合の場合、年間約1,000万円の収支改善が見込まれ、全床回復期の場合、年間約1,500万円から2,000万円の収支改善が見込まれます。ただし、全床の場合、2から3名の看護師の削減が条件になります。 ・ 病床再編の効果としては、回復期医療を必要とする患者のニーズに対応できること、圏域内で不足する回復期への転換で地域ニーズに対応できること、最適な医療機能を構築しつつ収支改善が図られること、があげられます。 ・ これらを踏まえて、9月の運営協議会では、ステップ1として、急性期病床を一部残して、ステップ2として、将来的に看護師の確保が難しくなる等の状況に応じて、全床を地ケア病床に転換していくという2段階での取組を想定し検討していくことを、前回の会議の中でご確認いただいています。 ・ 「再編の方針」ですが、一つとして、ニーズの高い地ケア病床を増床しニーズと実態とあっていない部分の改善を図ること、二つ目として、本町における急性期医療を確保する観点から、再編する病床は一部とし、全床地ケア病床への転換は、地域の医療需要や看護師等の確保状況を考慮し判断していくこと、三つ目として新興感染症の対応や重症患者等の療養環境の維持等、施設管理上、区分して確保すべき床数を考慮することを基本として、令和7年6月1日又は7月1日に、現状の一般22床・地ケア18床を6床転換し、一般16床、地ケア24床への再編に向けた手続きを開始し、急性期医療を確保しつつ回復期医療の更なる充実を図っていくこととしております。
毛利会長	説明が終わりましたが、病床の再編については、収支改善にもなるとのことですが、ご質問等がありますか。
木澤委員	診療報酬について、病院側のメリットは、地ケアのほうがメリットがあるということですか。
工藤事務長	一般病床は出来高で算定となり積極的な医療行為が必要な患者であれば病院にとっての収入になりますが、回復期にある患者さんが多い実態があり、地ケアによる包括的算定のほうが収支的にも地域のニーズ的にもマッチしメリットがあると捉えています。
木澤委員	地域としては、これからケアのほうが必要になるということですね。
毛利会長	むかわ町厚生病院の在り方としては、苫小牧市から転院してきて、こちらのほうで回復していくという役割があります。
木澤委員	看護師の配置については、どのようになりますか。
工藤事務長	今の段階では現状を維持することになります。全床地ケアになったときは少し看護師の人数は見直しになると思いますが、一般と地ケアのミックスの段階で1床でも一般病床が残る場合は、見直しできないので現状のままになります。

毛利会長	今回は再編で地ケア6床増やすということですが、将来的に、また更に増やしていくことは可能ですか。
工藤事務長	将来的に全床回復期にしていくことは考えていますが、決定ではなく、まだまだ、これから協議が必要と考えております。
毛利会長	ほかにご質問がなければ、病床の再編について了承してよろしいですか。 (質問なし) 提案どおり了承とします。 次に、経営強化プランについて昨年3月に策定したが点検・評価することになっており、今回はそのやり方についての協議ということで説明をお願いします。
酒巻課長	○協議(2)むかわ町鶴川厚生病院経営強化プランの点検・評価・公表について <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年3月に策定した、病院経営強化プランの進行管理については、国から示されたガイドラインで、概ね1年に1回以上点検・評価し、その結果を公表するとともに、必要に応じてプランの改定を行うことと、その評価に際しては、有識者や地域住民等の参加を得て設置した委員会へ諮問するなど評価の客観性を確保することとされています。 ・ 町の経営強化プランでは、決算が確定した段階で、点検と評価を行い、この運営協議会から提言を受けて、ホームページ等で公表することとしており、また、計画で掲げた数値目標の達成が著しく困難であるときは、計画の見直しを行うなど、プラン・ドゥ・チェック・アクションのサイクルにより進行管理していくこととしています。 ・ 点検・評価の対象とする項目については、プランの第5章に定めている「数値目標」及び「具体的な取組」の達成状況や実施状況を、点検し評価していきたいと考えています。 ・ また、評価の手順と実施の時期については、まず点検を指定管理者である厚生病院と設置者である町において、6月から7月に点検・自己評価を行い、その内容を8月から9月に運営協議会に報告し評価いただき、公表については、町議会の決算認定後の12月下旬に町ホームページ等で公表していく手順で進めさせていただきたいと考えております。 ・ なお、経営強化プランの計画期間は令和5年度から令和9年度までであります。令和6年3月末の策定ということで実質のスタートが令和6年度となることから、実際の評価については、令和6年度決算がまとまった後の、令和7年度第1回運営協議会で審議いただき、町議会の決算認定後の12月下旬に公表する運びです。 ・ 点検・評価の方法については、数値目標の達成状況を表と文章で整理し、具体的な取組の項目は、取組内容を整理の上、Aの順調からEの見直しまでの5段階評価としていきたいと考えています。 ・ 点検・評価の内容と報告書の体裁については資料のとおりになります。 ・ 進め方と報告書のイメージについてご説明しました。ご協議のほどよろしくをお願いします。
毛利会長	皆さんからご質問はありませんか。
宮崎委員	運営するにあたり持続可能になるためには、どれくらいの入院患者の確保が必要になりますか。人口も減っている中で入院患者の確保が難しくなり、高齢者が多いので地ケアは増えると思うが、それも今後、減少していくと思われます。

毛利会長	<p>プランの内容自体が、持続可能な病院運営のために計画しているものなので、そういう理解で良いと思います。プランと実態がどのようになっているかを点検し我々がチェックしていくという役割を担っていると思います。</p>
酒巻課長	<p>プランでは持続可能な運営を実現していくため、数値目標を掲げているが、一方、過疎地の地域医療は不採算な部分があり、国の地方財政措置があり地域の医療を支えていくしくみがあります。そういったものを活用しながら地域に必要な病院機能を維持していきます。</p> <p>また、前段の議題で協議いただいた、地ケア病床については、地域ニーズの高い病床への転換を図るとともに、厚生連さんの努力の中で急性期を担う病院を訪問し転院の確保も図っており、これらを目標としているものです。</p>
毛利会長	<p>令和5年度の実績をみると、計画を上回っているが、実際には令和6年度の実績を、この協議会の中で見て点検していくことになります。</p> <p>今回は、評価の段取りと日程の確認になることでご理解を。</p>
木澤委員	<p>このように評価し公表していくことは良いと思いますが、委員会の前段に、町と厚生病院でしっかりと協議・調整した上で委員会に上げていただきたい。</p>
毛利会長	<p>意見として伺うことでよろしいですね。他に意見はありませんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、進め方について、ご了承いただいたこととします。</p> <p>住民にはHPのほか広報でも公表するのですか。</p>
酒巻課長	<p>町ホームページ等の複数の方法で周知していきたいと考えています。</p>
毛利会長	<p>よろしくをお願いします。</p> <p>その他、何か発言はありませんか。</p>
野宮副会長	<p>事業所の健康診断を厚生病院にお願いしていますが、健康診断に際しての時間的制約など、新しい先生が配置されることで、こうした部分が改善されるか等、今後の見通しがあればお願いいたします。</p>
越智院長	<p>常勤医師の減により、いろいろなところにしわ寄せが出て、やむを得ず制限が出た状況と考えています。3人体制に戻りましたら、そういった部分を元に戻したり、ニーズへの対応などを考えていきたいと思っています。</p>
毛利会長	<p>他になければ、以上で、運営協議会を終了します。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

(閉会)